提案タイトル	幕張新都心を中核とした近未来技術等社会実装によるユニバーサル未来社会の実現 内閣府 近未来技術等社会実装事業

提案者	事業分野
千葉県千葉市	健康寿命の延伸、移動革命の実現、快適なインフラ・まちづくり

背景・課題

目指す将来像	• 近未来技術の活用による、あらゆる世代・境遇にある人々が活躍できる場の創出、地域活性化による「ユニバーサル未来社会」の実現（東京2020大会において、世界に発信）
解決すべき課題	• 産業集積と生産性の向上、東京2020大会で7競技の会場となる幕張メッセを有する幕張新都心における、駅や主要施設間の回遊性向上、国家戦略特区における民間企業の近未来技術実証に係る財源の確保

2020年度までの事業内容

○事業：ドローンによる宅配サービスの実現

活用技術	事業概要
ドローン	• 国家戦略特区の枠組みである千葉市ドローン宅配等分科会・技術検討会を中心に特区サンドボックス制度を活用し、現在開発中の「若葉住宅地区」において、2020年までにドローン宅配サービスの社会実験を開始する予定

ドローン宅配実証実験の様子

○事業：自動運転モビリティによるまち全体の回遊性向上

活用技術	事業概要
自動運転	• 車道及び歩道における自動運転モビリティの社会実装に向け、産官学が連携した検討会による技術実証やビジネスモデル等を検証するとともに、市民意識醸成に資する取組みを推進する。 • 車道においては、2020年までに地域限定・特定路線での自動運転の社会実装を予定 • 歩道においては、東京2020大会開催時に幕張新都心でのパーソナルモビリティシェアリングサービスを実施予定

市民意識醸成の取組み